令和６年度
九州・沖縄産学循環型の
デジタル推進人材育成・リスキリング調査等事業
調査報告書

令和７年２月

AKKODiS コンサルティング株式会社

目次

はじめに 3
１－１. 本事業の目的 3
１－２. 本事業の実施概要 4
１－３. 本報告書の構成 4
２. 産学連携によるデジタル推進人材育成体制構築に向けた調査 5
２－１． 調査について 5
２－１－１． アンケート① 5
２－１－２． ワークショップ 5
２－１－３． 個別ヒアリング 6
２－１－４． アンケート② 7
３． 九州・沖縄での産学循環型のデジタル推進人材育成方策 8
４． デジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）の試行・運用調査 9
５． デジタル推進人材の産学往来のための運用手順 11
６． 産学循環型のデジタル推進人材育成の普及事業（フォーラム開催）報告 12
６－１． フォーラム概要 12
６－２． 開催案内 13
６－３． 当日の様子 17
６－４． アンケート 19
６－５. 九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業報告 21

はじめに

１－１．本事業の目的

デジタル田園都市国家構想が掲げるデジタル技術の活用による地域の社会課題解決を進めるには、その担い手となるデジタル推進人材※1の育成・確保が不可欠である。同構想では、2026 年度までに 230 万人を育成する目標を掲げており、教育機関だけでなく社会全体でデジタル推進人材を育成していく体制を整えていくことが急務となっている。

こうした中、文部科学省及び経済産業省は、高等教育機関（大学・高等専門学校）を中心としたデジタル推進人材育成を産学官が一体となって推進するための枠組みとして、「デジタル人材育成推進協議会」※ 2 を 2022 年 9 月に立ち上げた。本協議会では、産学官連携による高等教育機関のデジタル推進人材育成機能の強化や、地域におけるデジタル推進人材ニーズの把握・検討・産業育成の促進等について議論しており、この中で、高等教育機関の教員不足解消に向けた企業からの講師等派遣について、「数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム」（以下、「MDA コンソ」という。）※3地域ブロック代表校と地方経済産業局が協調して進めていくこととなった。

これを受け、九州・沖縄地域では、MDA コンソ九州・沖縄ブロック会議※4（2022 年 11 月、2023 年 8 月、2023 年 12 月開催）において、産学連携に向けた意見交換を実施した。同会議では、高等教育機関からは産学連携による実践的教育の充実（データサイエンスに必要な企業からの実データ提供、企業からの講師派遣、インターンシップ、PBL※5等）を望む意見が出され、産業界からは社内人材育成やデータ分析・AI 活用等における外部知見の導入に向けた産学連携の強化を望む意見が出された。また、高等教育機関、産業界双方から産学連携に向けたマッチングの仕組み構築を望む意見が出された。

こうした意見を踏まえ、本事業では、学生だけでなく社会人の人材育成（リスキリング）も視野に、人材が産学を行き来する「循環型」のデジタル推進人材育成の体制構築及び円滑な運用に向けた調査等事業を実施する。

補足）

※ 1 デジタル推進人材

専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決を牽引する人材。

※ 2 デジタル人材育成推進協議会

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_suishin/index.html

※ 3 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/

※ 4 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム 九州・沖縄ブロック会議

http://mdsc.kyushu-u.ac.jp/block_kyushu

※ 5 Project Based Learning の略。「課題解決型学習」と訳される、生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習方法のこと。

１－２．本事業の実施概要

本事業の目的を達成するため、以下の取組を行う。

（１） 産学連携によるデジタル推進人材育成体制構築に向けた調査

① 高等教育機関・地域企業におけるデジタル推進人材育成課題調査（文献・アンケート・ヒアリング調査等）

② 高等教育機関・地域企業におけるデジタル推進人材育成意向調査（アンケート・ヒアリング調査等）

（２）デジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）の試行・運用調査

（３）デジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）運用ガイドラインの策定

（４）産学循環型のデジタル推進人材育成の普及事業（フォーラム開催）

（５）当局との打合せ及び関係機関との調整

１－３．本報告書の構成

前項を踏まえ、本報告書は全６章構成とする。

まず第 2 章では、産学連携によるデジタル推進人材育成体制構築に向けた調査について取りまとめ、第３章では、調査の結果から抽出された産学連携の課題感を元に、方策を取りまとめた。次に第４章ではデジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）の試行・運用調査について取りまとめた。第５章では、デジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）運用手順を取りまとめた。最後に第６章では、産学循環型のデジタル推進人材育成の普及事業（フォーラム開催）について、開催報告として取りまとめた。

それぞれの章で添付すべき調査資料については別添ファイルとして取りまとめている。

２. 産学連携によるデジタル推進人材育成体制構築に向けた調査

２－１．　調査について

２－１－１．アンケート①

目的：

・高等教育機関・地域企業におけるデジタル推進人材育成課題調査

・高等教育機関・地域企業におけるデジタル推進人材育成意向調査

・産学連携に向けた課題抽出

調査対象:

・産業界: 九州経済連合会、各県情報産業協会等の会員団体（約 1,200 社）

・高等学術機関: MDA コンソ九州沖縄ブロック会議会員 53 団体

回答数:

・産業界: 80 件

・教育機関: 24 件

アンケート書式：【別添１】【貴団体名】産学連携調査 .xlsx

２－１－２．ワークショップ

目的：産学連携の実績がある団体に対して、連携に向けた障壁など、本音を引き出す。

実施内容:

・セミナー: 連携に必要な契約について（基礎編）

・産学連携実績紹介（参加団体より）

・これからの連携へ向けたグループワーク

実施日時: 2024 年 10 月 24 日（木）

会場: AKKODiS コンサルティング株式会社福岡オフィス会議室

参加団体:　産業界: 2 社、高等教育機関: 4 校

ワークショップアウトプット：

【別添２】デジタル推進人材育成のための産学連携を考える「わがまま会議」アウトプット.xlsx

２－１－３．個別ヒアリング

目的：産学連携への興味がある団体に対して、連携に向けた障壁など、本音を引き出す。

対象: アンケート①の回答から産学連携に前向きな団体を事務局にて抽出

実施期間：2024 年 11 月 18 日（月）― 22 日（金）

実施団体：

産業界　7 社：電気・ガス・熱供給・水道業　3 社、サービス業　1 社、
研究・専門・技術サービス業　1 社、運輸業　1 社、情報通信業　1 社

高等教育機関　2 校：文系 1 校、理系 1 校

実施方法：対面　8 団体／オンライン　1 団体

個別ヒアリングアウトプット

産業界

- Win-Win になるような連携が必要
- 生成 AI など、新たな知見による気づきが欲しい
- データは蓄積されている
- DX 推進人材に課題を抱えている。
- 社会貢献の観点で、産学連携は積極的に進めている。
- 人材確保の観点から、大学とのネットワークが必要
- PBL のことは知らなかった

高等教育機関

- Win-Win になるような連携が必要
- 企業の課題解決にうまく PBL を活用して欲しい
- 実データの提供を期待する
- 実務家を講師として派遣して欲しい
- 地域貢献活動を一緒に進めたい
- 社会に求められる技術を知りたい

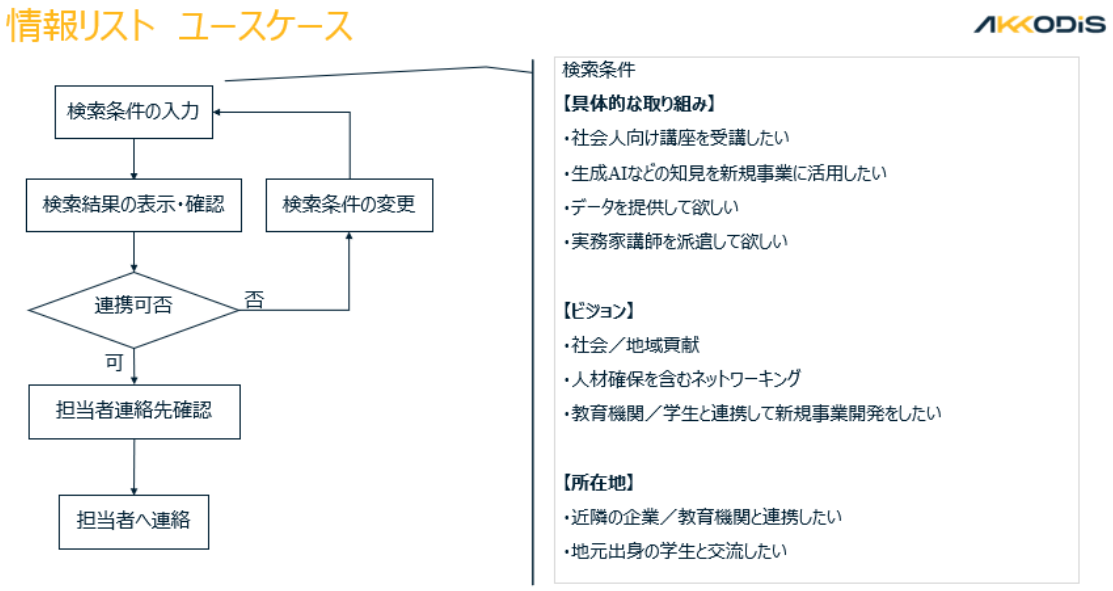
２－１－４．アンケート②

目的：産学連携を促進する情報リストの作成のため、対象団体から情報リストに記載する事項を収集する

対象: アンケート①の回答から産学連携に向けた調査に協力可能な団体（104 団体）の中で、産学連携に興味のある部門毎に回答。

回答数: 50 件：産業界: 31 件／高等教育機関: 19 件

設計：アンケート①、ワークショップ、個別ヒアリングの内容を元に、産学連携を始める際の情報リストのユースケースを設定し、アンケート書式を設計した。



図：情報リスト　ユースケース

アンケート書式：　【別添３】【貴団体名_担当名】産学連携情報リスト調査.xlsx

回答取りまとめ：　【別添４】管理者用【情報リスト】.xlsm

３．九州・沖縄での産学循環型のデジタル推進人材育成方策

成果物：【別添５】九州・沖縄での産学循環型のデジタル推進人材育成方策.pptx

４．デジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）の試行・運用調査

目的：産学組織間橋渡し（循環）を試行し、シームレスに標準化（＝非属人的）するためのアルゴリズム運用ガイドラインを策定する。

対象:

① 電気事業者（福岡）・国立大学（福岡）
② 運送事業者（大分）・私立大学（福岡）
③ 電気事業者（熊本）・私立大学（福岡）
④ 情報通信事業者（沖縄）・国立大学（沖縄）

橋渡し実施方法：情報確認シートを参考に双方のコミュニケーションを促進

情報確認シート内容：

令和６年度　九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業

デジタル推進人材の産学組織間橋渡し（循環）の試行・運用調査

目的：学生だけでなく社会人の人材育成（リスキリング）も視野に、人材が産学を行き来する「循環型」のデジタル推進人材育成の体制構築及び円滑な運用に向け、橋渡し試行を行う。

打合せの流れ（想定）	実施日	備考
第１回　顔合わせ／双方の要望確認		
第２回　具体的な進め方の調整		
第３回　実施スケジュール・マイルストーン決定		

企業／団体名		学校名	
部署名		部署名	
肩書		肩書	
担当者名		担当者名	
電話番号		電話番号	
E メールアドレス		E メールアドレス	
HP アドレス		HP アドレス	

①デジタル人材育成の産学官連携について要望	

次回までの TODO	

②具体的な進め方	
次回までの TODO	

③実施スケジュール・マイルストーン	
次回までの TODO	

メモ・備考

情報資料ファイル：【別添６】橋渡し情報確認シート【ひな型】.xlsx

５．デジタル推進人材の産学往来のための運用手順

成果物：【別添７】デジタル推進人材の産学往来のための運用手順.docx

６．産学循環型のデジタル推進人材育成の普及事業（フォーラム開催）報告

６－１．　フォーラム概要

フォーラム名称：九州・沖縄産学循環型デジタル推進人材フォーラム

【日時】2025 年 2 月 17 日（月）13 時 00 分～15 時 00 分（12 時 30 分　開場）

【会場】JR 博多シティ 10 階　会議室（福岡県福岡市博多区博多駅中央街 1 番 1 号）

【定員】会場：70 名程度（先着順）

【参加費】無料

【対象】DX 推進・産学連携に関心がある企業、自治体、教育機関の方

【主催】経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局

【内容】

１．開会挨拶　経済産業省九州経済産業局　地域経済部　部長　楠木 真次

２．基調講演「これからのデジタル推進人材とその育成の場の作り方」
　人的資本投資研究センター　センター長　伊藤 健二 氏

３．九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業報告
　AKKODiS コンサルティング株式会社　地方創生部　笠原 鉄平

４．パネルディスカッション「デジタル推進と産学連携の今」
　九州工業大学　大学院　情報工学研究院　教授　宮野 英次 氏
　福博印刷株式会社　データビジネスソリューション課　課長　最所 真一 氏
　人的資本投資研究センター　センター長　伊藤 健二 氏

５．交流セッション

６－２．　開催案内

参加費無料

経済産業省
九州経済産業局

九州・沖縄産学循環型デジタル推進人材フォーラム

主催　経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局
対象　DX推進・産学連携に関心がある企業、自治体、教育機関の方

2025年2月17日（月）
13:00-15:00（12:30開場）

JR博多シティ10F 会議室（JR博多駅直結）

プログラム

1．開会挨拶
経済産業省九州経済産業局　地域経済部　部長　楠木 真次

2．基調講演
「これからのデジタル推進人材とその育成の場の作り方」
人的資本投資研究センター　センター長　伊藤 健二 氏

3．九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業報告
AKKODiSコンサルティング株式会社　地域共創推進部　笠原 鉄平

4．パネルディスカッション
「デジタル推進と産学連携の今」
九州工業大学　大学院　情報工学研究院
教授　宮野 英次 氏
福博印刷株式会社　メディアクリエイティブ本部
課長　最所 真一 氏
人的資本投資研究センター
センター長　伊藤 健二 氏

5．交流セッション

参加登録【申込締切：2025年2月17日（月）9:00】
※定員（70名程度）になり次第、受付終了予定

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyu-johoseisaku/forum

【個人情報の取り扱いについて】ご提供いただいた個人情報は、事務局（経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局、AKKODiSコンサルティング株式会社（本事業の委託事業者））及び講師が、本事業（九州・沖縄産学循環型デジタル推進人材フォーラム）の運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び講師以外の第三者に開示、提供することはございません。

九州・沖縄産学循環型デジタル推進人材フォーラム
開催のお知らせ

令和６年度九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業報告と今後の産学連携に向けた情報提供を通じて、産学循環型のデジタル推進人材育成をさらに推進するため、九州沖縄地域の産業界と高等教育機関等の交流を深める対面型フォーラムを開催いたします。本フォーラムでは、最新の事業成果や今後の展望についての報告を行うとともに、産学連携事例の紹介やデジタル推進人材の活用促進についても議論します。参加者同士のネットワーキングの機会も設けておりますので、ぜひご参加ください。

SPEAKER

基調講演

「人的資本投資研究センター」センター長　伊藤 健二 氏

（内閣府 デジタル田園都市国家構想/地方創生評定委員（働き方改革担当））
（OECD　高等教育におけるEラーニング：国際事例の評価と戦略　訳者代表）

人的資本投資研究センターを主宰し、エンゲージメント、ウェルビーイング等の各種HRの指標をテレワーク等の働き方、職場環境とを掛け合わせて、毎年1万人以上のリサーチで探求している。学校経営はもとより、数千人数万人規模での企業経営でもHRデータを元に施策化している。厚生労働省、内閣府(地方創生/デジタル田園都市国家構想等)等において、ジョブカード、しょくばラボ、公共職業訓練、第4次産業革命での基礎的ITリテラシー等、人材関連の委員を歴任。HRチャレンジ大賞は第1回から審査委員を務め、毎年の傾向を整理している。

パネルディスカッション

九州工業大学　大学院情報工学研究院　教授　宮野 英次 氏

1995年九州大学工学研究科博士後期課程修了、2001年九州工業大学助教授、2013年より現職。理数教育支援センター飯塚分室長、STEM教育推進部門副部門長、高度データサイエンティスト育成室長、数理・DS・AI教育推進室長、日本オペレーションズリサーチ学会九州支部長を歴任。専門は組合せ最適化、離散アルゴリズム論。
九州工業大学では、小中学生のSTEAM教育、高大教育連携推進、社会人向け公開講座等を担当。現在は、産学・自治体協働によるAI人財育成を軸とした地域創生を模索中。

福博印刷株式会社　メディアクリエイティブ本部
データビジネスソリューション課　課長　最所 真一 氏

住宅メーカー、広告会社を経て約15年前に福博印刷株式会社に入社。
マーケティング部署、データ分析チーム、2019年にAI導入支援といった新規事業起ち上げに多く携わる。
現在はDX/AI推進コンサルティングが主な業務で、支援先の課題や環境に合わせたDX/AI推進の伴走支援(データ活用、人材育成を始めとした必要環境整備からプロジェクト全体のマネジメント)を行っている。
社員数50名以下の中小企業様の支援実績が豊富。

会場へのアクセス

お問合せ先：事務局（AKKODiSコンサルティング株式会社）
担当　笠原
kyushu-okinawa.digital.reskilling_research.project@akkodis.co.jp
070-1209-7533

経済産業省
九州経済産業局

「九州・沖縄産学循環型デジタル推進人材フォーラム」を開催します

2025年01月29日

▶IT・デジタル・半導体・エレクトロニクス

デジタル技術の活用による企業成長や地域の社会課題解決を進めるには、その担い手となるデジタル推進人材の育成・確保が不可欠です。
こうした中、地域におけるデジタル推進人材の育成・確保に向けて、産学双方のリソースを有効活用しデジタル推進人材を育成するため、産学連携推進に向けた取り組みを進めてきました。
本フォーラムでは、その成果を共有するとともに、地域における産学連携の事例の紹介やデジタル推進人材の活用促進に向けた議論を行います。
参加者のネットワーキングの機会も設けておりますので、是非ご参加ください。

イベント概要

日時	2025年2月17日（月曜日）13時00分～15時00分（12時30分 開場）
開催場所	JR博多シティ10階 会議室 （福岡県福岡市博多区博多駅中央街1番1号）
定員	会場：70名程度（先着順）
参加費	無料
主催	経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局
対象	DX推進・産学連携に関心がある企業、自治体、教育機関の方
プログラム	1. 開会挨拶 経済産業省九州経済産業局 地域経済部 部長 楠木 真次 2. 基調講演 「これからのデジタル推進人材とその育成の場の作り方」 人的資本投資研究センター センター長　伊藤 健二 氏 3. 九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業報告 AKKODiSコンサルティング株式会社 地方創生部 笠原 鉄平 4. パネルディスカッション 「デジタル推進と産学連携の今」 九州工業大学 大学院 情報工学研究院 教授 宮野 英次 氏 福博印刷株式会社 データビジネスソリューション課 課長 最所 真一 氏 人的資本投資研究センター センター長 伊藤 健二 氏 5. 交流セッション

申込期限

2025年2月17日（月曜日）9時00分まで

詳細・申込方法

以下、ホームページよりお申し込みください。
参加申込みフォーム

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、事務局（経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局、AKKODiSコンサルティング株式会社（本事業の委託事業者））及び講師が、本事業（九州・沖縄産学循環型デジタル推進人材フォーラム）の運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び講師以外の第三者に開示、提供することはございません。

参考

開催案内チラシ(PDF:1,736KB)

フォーラム申込に関するお問合せ先

AKKODiSコンサルティング株式会社（本事業の委託事業者）
担当：笠原
電話：070-1209-7533
E-MAIL：　kyushu-okinawa.digital.reskilling_research.project@akkodis.co.jp

お問合せ先

九州経済産業局 情報政策課 デジタル経済室
担当：三小田、小幡、溝上
電話：092-482-5552
E-MAIL：　bzl-kyushu-iot@meti.go.jp

経済産業省　九州経済産業局 HP
https://www.kyushu.meti.go.jp/event/2501/250129_1.html

６－３．　当日の様子

■開会挨拶

楠木 真次氏
経済産業省九州経済産業局
地域経済部 部長

■基調講演

伊藤 健二氏
人的資本投資研究センター センター長

■九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業報告

笠原 鉄平氏
AKKODiS コンサルティング株式会社　地域共創推進部

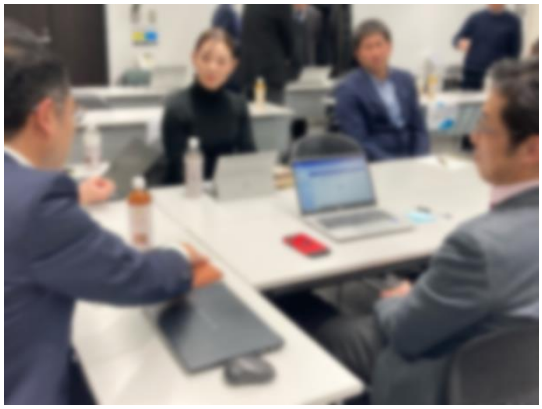
■パネルディスカッション「デジタル推進と産学連携の今」

九州工業大学 大学院 情報工学研究院
教授 宮野 英次 氏（左）

福博印刷株式会社データビジネスソリューション課
課長 最所 真一 氏（中）

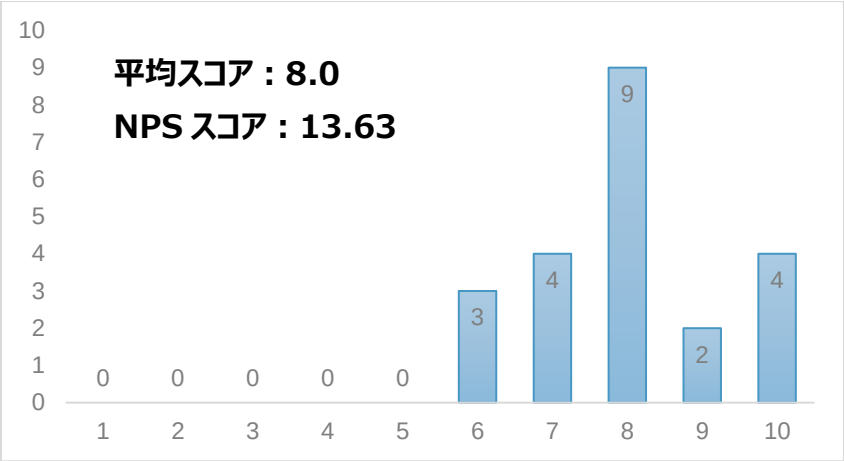
人的資本投資研究センター センター長
伊藤 健二氏（右）

■交流セッション



６－４．　アンケート

Q：フォーラムの内容について満足度をお知らせください。（10 段階）



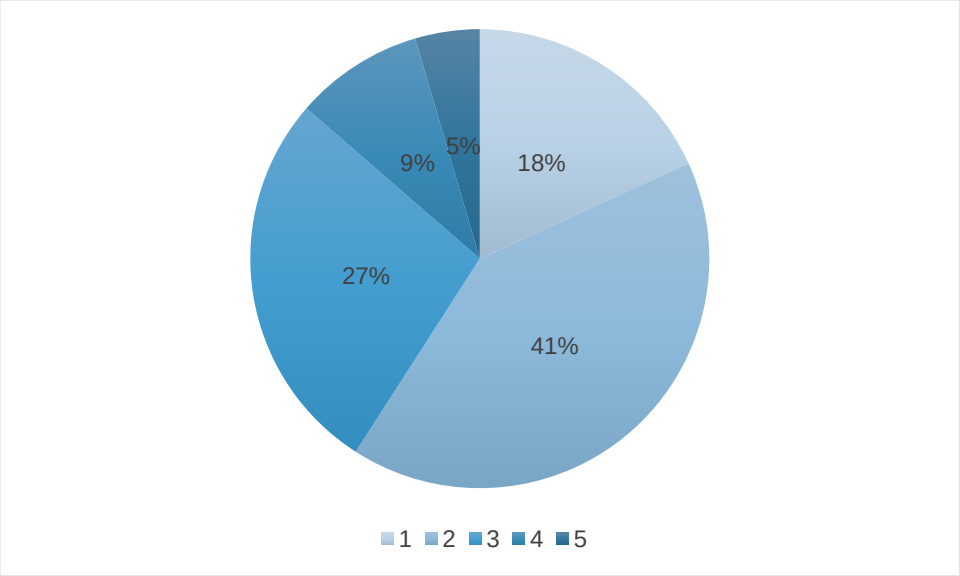
図：満足度毎の回答件数

参加者コメント：

産学連携に伴った最新の DX に関する動向を確認できてよかった。
産学連携のあり方について学べ興味がわきました
産学連携の実態をお聞きすることができ、参考になった。
大学様や他の企業様の方と意見交換できて良かったです。
企業・大学側の話が聞け参考となりました！
企業と大学の産学連携についてあまり詳しく知らなかったので、聞くことができ、良かったです。
当社は産学連携ができる段階ではないが、学びはあった。
社内においては DX 推進の取り組みはスタートしたばかりであり、産学連携等は非常に興味深いものであった。
内容や意見交換については有用な情報や気づきがあった。 ネットワーキングの時間がもう少しあるとよかった。
データに基づいた説明があり、勉強になりました。
産学双方の思いをぶつけ合う機会が重要だと思いました。ぜひディスカッションの時間をとっていただけると有り難いですね。
登壇者の皆さんが素晴らしかった
各登壇者の貴重なお話しを伺えてとても勉強になりました。
今後産学連携における失敗例や、成功に導くためのプロセスをご教示いただける場があると幸いです。
多様な事例が聞けて良かったです。一方、参加者合流で、もう少し話し会話の時間が、あると良かったです。
フォーラムでお聞きした事例は参考になりました。それらはプログラミングスキルが一定以上ある学生の事例だったかと思いますので、文系の大学ではどのように産学連携に繋げていけるのかを模索していきたいです。

Q: 貴組織におけるデジタル推進人材の需要についてお知らせください。

1. **非常に不足している** - デジタル推進人材が著しく不足しており、業務に大きな影響が出ている。
2. **不足している** - デジタル推進人材が不足しており、業務に支障が出ている。
3. **やや不足している** - デジタル推進人材がやや不足しているが、業務に大きな影響はない。
4. **十分である** - デジタル推進人材が十分に確保されており、業務に問題はない。
5. **非常に十分である** - デジタル推進人材が非常に充実しており、業務が円滑に進んでいる。



Q: デジタル推進人材を雇用する場合、どのような雇用形態をお考えでしょうか。(複数回答可)

雇用形態	**回答数**
正社員 - フルタイムでの雇用を希望。	15
契約社員 - 一定期間の契約での雇用を希望。	7
派遣社員 - 派遣会社を通じての雇用を希望。	0
アルバイト - パートタイムでの雇用を希望。	0
副業 - 他の仕事と並行しての雇用を希望。	0
学生インターン	0
その他	
検討中です	1
学生の育成で協力できれば幸いです。	1
会社として雇用の何かお手伝いができればと考えています。	1
人材供給側で努力します。	1
経営の問題ですので私の知れるところではありません。個人的希望でいえば正社員で雇っていただきたいところです。	1

報告スライド：【別添８】【フォーラム】事業報告.0217.pptx